

学校現場で求められる資質を高めるために他の授業や修士論文作成と関連づけた授業

特別支援教育講座・吉松靖文

1. 授業の基本情報・概要

前期の授業や週1回の小中学校での実習の内容を関連づけ、特別な教育的ニーズのある子どもの実践的なアセスメントの能力の獲得を目的とした授業である。生育歴や相談教育歴、子どもが書いたノートやプリント、テスト、特徴的なエピソード、発達検査などの資料を総合的に解釈し、教育支援の方策を策定し実習にいかすことで、確かなアセスメント能力と実践力を高める授業である。

2. 授業評価・授業研究の内容

授業終了後、無記名による授業評価アンケートを実施した。受講者9名のうち8名から回答があった。なお1名は回答内容のまま提出されていたので、評価から除外した。結果は図1, 2の通りであった。

教材の提示、資料配付の適切性はほとんどの受講生が「全くそう思う」「そう思う」と回答した。自由記述では、「検査の資料や事例など、どれも役に立つ物であった。」「検査に関する資料や事例をもとに講義内容を理解することができた。」「協議した内容をその場ですぐに入力していただいたから。」「K-ABC II の資料が配付

され、良かった。また配布により実態に基づいた解釈ができたので良かった。」「個人情報回収したから。」「WISC-IV や KABC-II の解釈について分かりやすくまとめられていて振り返る場合も便利だった」という回答があった。

授業の進め方の適切性、教室環境の充分さ、授業への積極性、満足度、有用性、理解度については、全員が「ややそう思う」「全く思う」または「そう思う」と回答した。

授業の進め方についての自由記述では、「特に検査の解釈の仕方が丁寧で分かりやすかった。」「提供された事例について、丁寧に解説していただき、大変勉強になりました。」「自分の頭の中で整理しながら聞ける時間を確保していただいたから。」「受講生の討論、発表の後に、先生がコメントや補足をしてくださり、大変分かりやすかった。」「総合的な解釈を詳しく行っていただいたから。」「ケースレポートやグループディスカッションの授業形態により主体的に取り組みながら知識や技能の習得が図れた。」という回答があった。

教室環境については「すぐに検査道具が取り出せる教室だとなおよかった。」「スクリーン

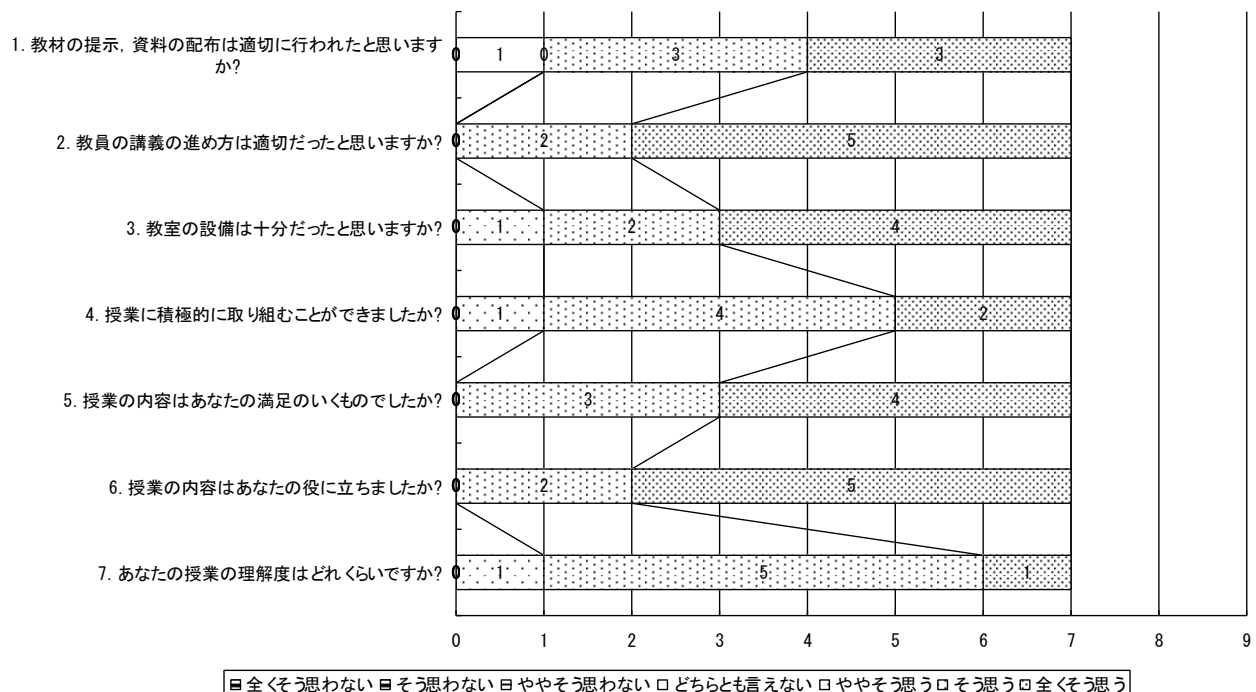


図1. 授業内容等に関する評価

で資料が大きく提示されていた。」「特に困ったことがなかったから。」「不備がなかったの。」「検査道具を運ぶこととこの人数なら、学習能力演習室で授業を行ってもよかったのではないか。」「教室の広さなど少人数の学習形態に適していた。」という回答があった。

授業への積極性については、「自分なりに意見を持って参加できた。」「事例を提示することができなかったが、資料の検討など積極的に意見を述べることができた。」「授業中は積極的に参加したが、自分の分からないことについて、事前事後に調べることをしなかったから。」「検査結果に基づく、解釈が学校現場で活かされると思ったので積極的に取り組むことができた。」「自分の事例を元に話ができて助かった。」「ケースレポートは身近な事例があったので進んで作成した。グループディスカッションでは参考になる意見を多く聞くことができた。」という回答があった。

授業の満足度については、「さまざまな事例について話し合えてよかった。」「適切に解釈できるか不安ではあるが、アセスメントの方法について主訴や実態と照らし合わせて実施していくことが分かった。」「学生同士で協議するのも意義を感じたが、先生の話をもう少し聞きたかったから。」「子どもの良いところを活かす支援法を検査結果から読み取るのがとても良かった。」「修論につながったから。」「いろいろな事例を参考に教育支援の在り方について検討

することができた。」という回答があった。

授業の有用性については、「検査の解釈の仕方が役に立った。」「今後の教育活動に活用することのできる内容であった。」「他の人の考えを聞いたり、検査結果から考えようとする態度が身についたから。」「学校現場で授業内容が活かされると思います。」「修論に役に立った。」「今後は理論と実践を結び付けた学習を提案することができそうである。」という回答があった。

授業の理解度については、「資料に頼る面はあるが、検査の解釈ができるようになった。」「すべてが理解できているとは言えないが、資料を検索したり活用したりすることで理解を深めていくことができると考える。」「授業中は理解できたが、それを人に伝えることはできないから。」「勉強不足で理解度は十分ではないので。」「理解はできたが、次にどれくらい生かせるかは分からない。」「まだ十分とはいえないが実践を積む中で繰り返し学習内容を勉強しなおすとさらに理解が進むと思う。」という回答があった。

3. 「授業時間外学習の促進」について

小中学校での実習の対象児に関する授業であるため授業外の学習時間が必然的に多く、その結果が授業評価アンケートの高い評価につながったと思われる。自由記述にも「修論につながった」という記述も見られた。

4. 総括

理解度については、まだ課題があると思わ

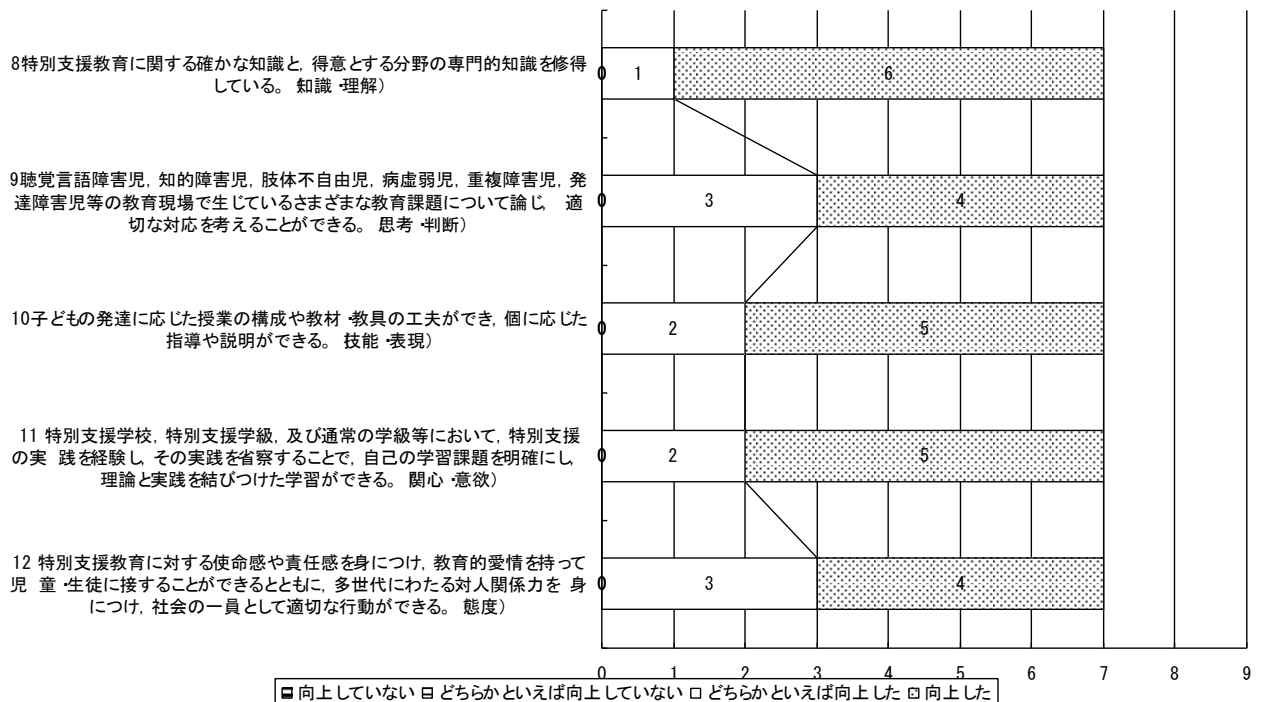


図 2. DP に関する評価

れる記述があるので、より理解度を高めるための授業外学習も含めた改善を行いたい。